

# 2020 年度クラス代表懇談会 事後集計

クラス代表懇談会当日にいただいた意見を整理したものです

☆はほぼすべてのグループで出た意見、◎は 5 件以上あった意見、○は 2 件以上あった意見につけています

## 1. 授業や課題などについて

### 1.1. 授業自体について

☆接続トラブル等で成績に不利益が生じないか心配。トラブルが起こった場合の対策をきちんと講じてほしい

○レジュメだけの授業があり、それだけだとわかりにくいことがある。

○実験・実習がビデオのみだと効果が薄いと感じる。また、何をしているのかよくわからないことがある。そのため、教材の吟味（代替手段は本当に有効なのか）や実習を後期に追加で行うことが求められる

- ・そもそも何を質問したらいいのかわからない。
- ・リアルタイムではなく、録画授業の場合は短いほうが受けやすい（30 分以内、など）
- ・教科書を自分で読んでレポートをまとめるだけの授業がある。ビデオ教材等がほしい
- ・授業の形式を、対面とリモートから選択したい
- ・授業ではズームを使うことが多いが、大人数で受けるとブレイクアウトセッションに入れなかったりする不具合が起こる
- ・必修の授業で ZOOM に 100 人までしか入れなくなっていて、追い出されてしまった（※ZOOM の契約の関係で参加人数の上限が 100 人になっていると考えられる）
- ・外国語学部は zoom と契約したため、CLE からパスワードなしで入れる。他の授業もそのようにしてほしい
- ・質問に返信があった時には考えていたことを忘れてしまう。（教員からの返信に時間がかかった場合）
- ・資料すらない授業がある。教科書ページを指定されるだけ。課題もない。テストのみ。教員は必要なのか
- ・オンライン授業が合っている人は自分を律することができる人だが、自分はそうではないのでオンライン授業は合っていないように感じる
- ・授業中に通信環境が悪く授業を受けられなくなった際に、教員や TA にメールで連絡したが、気が付いてもらえないことがあった。その授業では録画などの提供もないので困った
- ・語学の授業だと発音の練習は個人で取り組むしかなく、対面授業より努力量と成果に個人差が出る（オンラインなのでうまく伝わっているか不安）
- ・実験実習系の授業ができていない。専修選びに影響が出る可能性がある
- ・対面授業再開が不安。1 年生にとっては初めての対面授業ということを考慮してほしい
- ・学問への扉が期待通りではない（ゼミ形式がよかった）

- ・対面前提の授業だとオンラインは厳しい（実験や見学ができない）
- ・対面授業でもチャット機能が欲しい
- ・履修登録時のシラバスと授業内容が違う

## 1.2. 各媒体での授業について

### ➤ Blackboard Collaborate

- ・見やすいと感じる

⇔

- ・PCとの相性など学生環境に依存するところが大きい
- ・重いため、接続の問題が起きがち
- ・CLEに期限表示されていない課題がある。課題の期限設定をしてほしい
- ・60人以上の授業だと、再接続しないと入れないことがある
- ・挙動安定性がイマイチ。インターネットエクスプローラーで使えないのも困る

### ➤ Microsoft Teams

- ・使いやすい

### ➤ ZOOM

- ・授業のレコーディングができるのがよい
- ・接続の問題が少ない（Blackboard Collaborateと比べて）
- ・顔を見ながらコミュニケーションが取れることがよい

⇔

- ・教員がパスワードを伝え忘れていたり、間違えたパスワードが送られてきたことがあった
- ・授業参加用のURLがわからず、出席できなかったことがある
- ・グループに分かれるのが面倒
- ・ブレイクアウトルームを大人数で作ると負荷が大きくなり、接続が難しくなる。また、実験・実習に使うには向いていない
- ・チャットで質問すると、質問への対応のため授業が止まってしまうのが気になる

## 1.3. 教員と、もしくは学生同士の連絡・交流について

◎対面でならできる些細な質問がオンラインだとできない。メールやCLEで質問用の掲示板があってもハードルが高く、気軽に質問できるシステムと機会が必要。

○教員と連絡を取りづらい（対面ではなくメールでしか連絡を取れないから）

- ・教員からのメールが多重送信されてくることがある
- ・中国語の教員が、中国語で書かれたメールしか受け付けてくれない
- ・学生同士の関係性が希薄であるため、学生同士で質問したりすることができない。しかし

ZOOMのブレイクアウトルーム等を活用したピアワーク・グループワークや学生同士の雑談の機会は、学生同士の関係性を作るきっかけにもなるので学生は望んでいる

- ・授業の方法について不満があるが、言いにくい

- ・連絡先が全く公開されていない教員がいる。課題にも自由記述欄がないため、連絡する術がない。一方的に CLE に課題が掲示されるだけ
- ・連絡方法はメールアドレスを登録して通知してくれる方法が一番分かりやすい
- ・主に LINE を使って連絡を取っているが、同級生の顔がわからないので、交流に不安や距離感がある
- ・LINE グループはあるが、発言しても大人数の場合みんなの中で埋もれてしまうし、発言しづらい
- ・SNS 上だけで同級生と交流するのは難しい

#### 1.4. オンライン授業でよかったこと

- ・通学の時間を省くことができる
- ・海外の大学の人と交流することができた
- ・対面だと自分で発音練習しにくいですが、発音練習ができる
- ・クラス代表懇談会はオンラインのほうが発言しやすかった
- ・録画されているもの場合は、わからないところに戻って確認できるのが良い

#### 1.5. 課題や評価について

☆テストの日程や内容について分からない教科もあった。早く予定を出してほしい（先の予定を立てるのに不便・学業以外との両立がしにくい）

☆KOAN、CLE、ロイロノート、Google Classroom など媒体が多様であり、課題提出期限が確認しにくいものがある

☆課題が多すぎてかなり負担になっている。課題を減らしてほしい

☆通知・配信方法がバラバラ（KOAN や CLE、メールなど）なので確認しづらい。統一してほしい

◎フィードバックをもっと詳しく丁寧に返してほしい。課題の意味は、誰がどれくらい理解できているのかを測るものではないのか

○慣れない期末試験が不安な学生が沢山いる。大学としての取り組みを発信してほしい。例えば、学習支援や、期末試験のスケジュールなどを、全員が見る形で周知してほしい（KOAN の掲示板だと、見ない学生もいるため） ※KOAN の掲示板について、掲示事項はすべてメールで配信されていると勘違いしており、掲示板に数ヶ月アクセスしたことがないという学生もいました。

○課題を評価に入れるか、など課題の扱いならび評価方法が曖昧なことがある

○実家にいる人もいるので、いきなり対面で授業やテストをされると言われても困る。

実際に、授業はリモートなのに、期末試験だけ対面でするといきなりいわれた授業がある

・相対評価系は周りがどれほど頑張っているかわからないので不安であり、基準としても周りが見えない現状においては不明瞭である

・エコーは早送りを禁止している授業と特に言及のない授業がある（あとから禁止になるものもある）ので基準ははっきりしてほしい

- ・最終評価について教員にメールをしたが返信が来ないので怖い
- ・違う授業で同じような課題が出され、課題が被っていることがある
- ・課題によっては、図書館が開いていないのでできずに困っている
- ・接続が安定していない学生もあり、課題やテストを授業中に提出しなければならない場合はそれが成績に反映されてしまうことが懸念される
- ・成績評価について、今年度特有の措置はあるのかがわからない
- ・授業によって、ZOOMでリアルタイムで行うものと、課題が出されるだけのものがある。課題が出されるだけのものは、課題をやり忘れたり、生活習慣が乱れる方がいる
- ・中間試験の際、英語の試験で、パソコンの調子が悪くて音が聞こえなくなってしまった
- ・授業で言っていることが分からなくて、教員にもなかなか伝わらず対応がしてもらえなかった。教員も初めてのことで大変だろうが措置を考えておいて欲しかった
- ・CLEだと提出期限が出るが、他のサイトで提出しろと言われるとCLEに提出期限が表示されないので管理できない
- ・ノートを大学に提出しに来るように、という課題を出す授業があり大阪から遠い実家にいたため提出が難しい人がいた。提出には郵送対応もしてくれたが、返却に対しては対応してくれなかったため大学の近くに住む友達に頼んだ（理学部・化学基礎論）
- ・CLE上の課題で再提出不可にするのはやめてほしい
- ・時間制限のあるテストはタイピング能力が求められ不安になる（特に外国語学部）
- ・CLEのテストを受ける際スマホやタブレットだとレイアウトが崩れる（特に穴埋め方式）
- ・課題はやることで成長するものだと思っていたが、成績を決めるものになっている
- ・事前予告なしでオンラインテストを実施された
- ・オンラインテストの解答をすぐに出してくれないと復習できない
- ・外国語の授業のオンラインテストに時間がかかりすぎる（60分程度）。
- ・教員によって課題の量がまちまち。多すぎたり少なすぎたり極端
- ・パソコン操作の習熟度で課題の完成度に差がある。特に、時間制限のある小テストでは差が大きくなる
- ・「授業終了後～分以内に提出」という課題では、次の授業やアルバイトとバッティングするのでつらい（教職）
- ・外国語（フランス語）のパソコン入力の方法が分からない。手書きを認めてほしい
- ・課題の解答が示されない。情報のプログラミング（課題の答えがないままテストされた）
- ・外国語科目のネイティブ講師からはメールの返信が来ない。点数はつくが理由がわからない
- ・単位認定の基準が示されていない授業がある

## 1.6. その他

◎小さなことや履修についてわからないことがあった場合にだれにも聞くことができない、ということが度々ある。教員・大学・上回生に気軽に質問できるシステムや同回生と交流を深め、互いに質問しやすいような環境も必要であるかも知れない

◎時間割の変更に困っている（アルバイトとの兼ね合いなど）

◎CLE に情報をまとめてほしい

○教員が新しい時間割を把握していない（変更を忘れている）授業がある、教員間でその変更が徹底されていない（変更を知っているうえで3限を13時から始めている教員もいる、試験も通常通り13時半にアクセスしたらすでに13時から始まっていたことがある）

○授業履修の抽選方法に納得できない。例えば、第1希望が定員割れしているのに、抽選に外れてしまうのはなぜか。また、スワヒリ語専攻はアフリカの授業を取らないといけませんが、抽選になっており希望者全員が履修できなかった（スワヒリ語専攻）

・CLE とメールが課題確認や連絡を受け取る主なツールなので、CLE への記載漏れや KOAN 掲示のメール送信が設定されていない、ということがないようにしてほしい

・予告なしに、授業の定員が変更されていたことがある

・KOAN のログイン期限が30分限りなのがとても面倒、のぼしてほしい。マイハンダイのアプリも使いにくい

・2週間遅れて授業スタートしたが、授業回数を減らすのか、8月まで授業をするのか、はっきりしてほしい

・どの授業を落としたら留年するのかわかりにくい。また、後期や次年度以降は全学の必修科目と、学部ごとの必修科目は授業時間が被って履修できない可能性がある

・GPA の使われ方が分かりづらい

・「いちょう祭期間は授業がない」と言われていたが、講義によって授業の有無がバラバラだった

・zoom に入れないうちにメールをしたことがあるのだが、返事が返ってこなかったことがあって、出席が不安になった

・数学は大学では厳密なため、資料だけの授業では内容が分からず、大学外の YouTube ビデオで学びなおしている

・授業やテストの連絡が直前に来ることがあり、対応できず困惑している（テストの連絡を2日前にはじめてする、など）

## 2 生活・体調について

◎モチベーションについて。ひとり家の中で学習しているとモチベーションがどんどん低下していく。友達と一緒に勉強したい。現状として、モチベーションが皆無である、という学生もいる。その他にも周りの学生がどれほど勉強しているかわからない場合、授業評価基準が曖昧である場合もモチベーションの低下につながる

◎オンライン授業は目が疲れる

○画面を見続けるのが辛い

○課題に時間をとられて、睡眠時間が短くなっている。ひどい人は一日3-4時間しか睡眠をとっていない。また、一人暮らしだとバイトをせざるを得ないので、さらに睡眠時間が取れない

・外にあまり出でおらず、運動不足が心配

・肩こりがひどい

- ・友達がおらず、だれとも話さないことにストレスを感じる。大学の交流会等のイベントはありがたい
- ・腰が痛くなる。腰が痛くならないよう椅子等を準備し、無駄な出費がかさんだ

### 3 学生生活について

☆全体的に、予定の発表を早くしてほしい。例えば、夏休みが短縮になるのか、秋冬学期の履修登録期間がいつまでなのか、など

◎大学での友人がオンライン上では作りづらく、そもそも交流する機会がない

○学生だけでは全体を巻き込んで企画を行うことに限界があるので、クラス担任等からそのような機会を設けてほしい

○大学主催の新生交流会などはもっと積極的に開いてほしい（6月に行われたものはとてもよかった）

○一般教養の授業などは学生間の交流がないし、そもそも連絡先を知らない

○各サークルの新歓情報がツイッターに依存しているため、改善してほしい。ツイッターをやっていない人に情報が集まりにくいなど1回生間の情報格差が心配。中実のホームページなどに阪大のサークルまとめがあるが、その情報にたどり着く入口がツイッターに偏っている

・図書館などで学習するスペースが欲しい（現状開いてはいるが、全学年使えることを学生は知らなかった。また、この方法では孤独感は解決しない）

・地方に帰った同級生もいるため交流会を開くのが難しい

・全学や生協主催の交流会は、開催告知が急すぎる。いきなり予定を変えられない

・4月・5月は食事・食費に困った（下宿生で、食事については生協ICカードを使って生協を利用する予定であったため）

・サークルはオンライン新歓などがあるが、できることが限られており雰囲気などもわからない。現状ほとんど入っている人はいない

・トイレは汚くないが、豊中総合学館の下の机やベンチの勉強スペースが綺麗じゃないので勝手に掃除したい

### 4 その他・要望など

◎対面で教えて欲しい

◎CLEで資料を配布するように統一してほしい（教員によって使用している媒体が異なるため、混乱する）

○対面の新生交流会を学部単位でやってほしい。前回の交流会は参加人数が多く、抽選に外れていくことができなかつたため

○授業を休んだ人にもみ授業の録画を公開する授業がある。接続などのトラブルがあった場合に備えて、全員に公開してほしい

○阪大が出しているコンテンツが、生徒間での認知度が低い。もっときちんと情報発信をしてほしい。授業内で見えるように指示されるコンテンツは見るが、それ以外は見ないし、そもそもコンテンツの存在を知らない。例えば、ウェルカムチャンネル

・マイハンドアプリについて。掲示板の確認ができるのはいいが、スマホで利用した場合、添付ファイルが開けないなどの不都合（PCと同様の操作ができない）がおこる。掲示の削除ができないのも不満

- ・いざ登校して困らないように、キャンパスの案内が欲しい
- ・ウェルカムチャンネルは存在を知っているが、見たことはない。
- ・サークルオリエンテーションを対面で改めてやってほしい（7月11日、12日にあることはあまり知られていない、知っていてもどのようなイベントで、どのように参加したらいいのかわからない）
- ・下宿生は食事を作るのが大変、大学の食堂に自由に行きたい
- ・課題状況のアンケートを取ってほしい。
- ・課題見落としによる落単の救済が欲しい
- ・数学の授業などで、教員の説明が理解しづらいことがあるため、そういう科目のサポートが欲しい
- ・シラバスに記載されていたTAのサポートがなくなったのは困る
- ・外国語の授業でネイティブがメールで添削してくれる。外国語の他の講義でも導入してほしい
- ・教員によって、出席確認の方法が違うためややこしい。そもそも、周知されていないこともあり、勝手に欠席扱いになることも
- ・教員のメールの使い方に関して、ジェネレーションギャップを感じる。LINEの方が手軽
- ・補講があれば受けたい
- ・連絡は期限や実施日のあるものは余裕をもって通知してほしい。また、学生からのメール等にはしっかり対応してほしい
- ・昼休みが90分になったが部活、バイトの時間が削られるのでやめてほしい
- ・昼休みが90分になるのが通知されてから実際に行われるまでの期間が短く対応しづらかった
- ・秋冬全員が登校してから30分遅らせるようにしたらよかったのではないか。もしくは今の段階で秋冬学期も昼休みを90分にするか通知してほしい
- ・かさねのタンタンメンがおいしくない